

新米の季節到来!!
日本一早い種子島産コシヒカリ出荷開始



「7月18日」種子屋久管内で、日本一早い「種子島産コシヒカリ」の集荷が開始されました。台風接近により出発式は中止になったものの、その後は天候にも恵まれ、順調に収穫作業が続いています。昨年より1週間遅い収穫となりましたが、7月31日現在で、一等米の比率40%と例年より高く、品質については昨年よりいい出来となっています。

鎌田経済部長は、「6月下旬からの長雨で収穫の遅れと稲の倒伏が懸念されたが、生産者の栽培技術の向上もあり無事に収穫が開始された。日本一早い種子島産コシヒカリを全国の消費者に届け、銘柄の確立をしていきたい。」とのこと。

今年、28,492袋／30キロ玄米の集荷を計画しており、8月上旬まで出荷を行う予定です。

種子屋久農協利用者
年金友の会
中種子支部総会



「7月3日」種子島こりゝなで、種子屋久農協利用者年金友の会中種子支部総会が開催され、220名が出席しました。

感謝状贈呈をはじめ、平成30年度活動報告や令和元年度活動計画等が協議されました。協議後には、交通安全講話や落語家の「桂こけ枝」さんによる、交通安全落語があり、会場全体が笑いに包まれました。

JA種子屋久
第2回あぐりスクール



「7月25日」南種子町で、第2回あぐりスクールを開催し、約50名の子どもたちが参加しました。

米ができるまでの学習やライスセンター・赤米館の見学を行いました。昼食は女性部に料理してもらい、子どもたちは、新米のおにぎりをおいしそうに頬張っていました。また、おむすびキッズコンテスト（食べたいおむすびを考案）に応募するための作品作りも行い、子どもたちは、思い思いのおむすびの絵を描いていました。

